



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社
 コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 経営管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,195	△3.6	△310	—	△248	—	△130	—
2022年3月期第1四半期	4,352	13.7	△15	—	21	—	△34	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △163百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△1.29	—
2022年3月期第1四半期	△0.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,777	13,530	80.6
2022年3月期	17,342	13,795	79.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,530百万円 2022年3月期 13,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	1.4	680	15.5	760	3.8	440	3.9	4.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	101,295,071株	2022年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	387株	2022年3月期	387株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	101,294,684株	2022年3月期1Q	101,294,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩なサービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品ならびに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、新たな商品・サービスの拡充を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、社会経済活動が正常化に向かい、景気が持ち直していくことが期待された一方、中国における感染再拡大や、ウクライナ侵攻の長期化に伴う原材料費の高騰による物価上昇や円安懸念など、景気の先行きは依然として予断を許さない状況で継続しております。

当社グループにおいては、日々の体温チェックやマスクの着用、除菌や清掃など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、お客様及び従業員に安心・安全な店舗空間の提供を継続してまいりました。

このような状況の下、婦人下着及びその関連事業におきましては、オミクロン株の世界的な流行による本年1月～3月までの行動制限の影響により、お問合せ及びご来店いただけるお客様数が落ち込んだことから、当第1四半期連結累計期間においてリピート購入が伸び悩みました。これは、当社の補整下着においては平均的に3ヶ月で体型変化によるリピート購入に繋がることから、4月～6月までのリピート購入が減少した結果、当第1四半期連結累計期間において、売上は計画を下回って推移いたしました。

一方、3月下旬にまん延防止等重点措置が解除されたこと、さらには本年4月より新・テレビCMの放映を開始するなど、メディアプロモーションによるお客様からのお問合せやご予約数が好転するなど、第2四半期以降の回復に向けた取り組みを推進いたしました。

また、婚礼・宴会関連事業及び美容関連事業におきましては、着実に復調の兆しが出てまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高41億95百万円（前年同期比3.6%減）、営業損失3億10百万円（前期は15百万円の営業損失）、経常損失2億48百万円（前期は21百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億30百万円（前期は34百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりです。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間において、2022年1月～3月までの期間にオミクロン株の世界的な流行の影響により、先述のとおり4月～6月のリピート購入が減少した結果、収益力の高い補整下着の売上が伸び悩みました。

一方、4月より新・テレビCMの放映を開始するなど、メディアプロモーションによるお客様からのお問い合わせやご予約数が好転するなど、第2四半期以降の回復に向けた取り組みを推進いたしました。

また、「MARUKO ASSE（マルコアッセ）」（オーダーメイドインソール及び専用シューズ）において、女性のお客様に加え、男性のお客様の獲得が進むなど、新たなお客様の開拓により、計画を上回り推移いたしました。

以上の結果、売上高は36億96百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント損失は2億46百万円（前期は84百万円のセグメント利益）となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、日本国内において、昨年に過去最低の出生数を記録するなど、厳しい経営環境が続く中、既存事業の収益改善に向けて、コスト低減に取り組みました。

一方、新たな収益基盤の構築に向けて、安産・子授けで有名な東京の水天宮近くにある店舗において、立地を活かしたフォトスタジオサービスを開始したほか、マタニティブランドとしての知名度と顧客基盤を活かし、マタニティウェア等のレンタルサービス「SAZUKARI（サズカリ）」を開始するなど、新たなサービスの開発・提供に注力いたしました。

以上の結果、売上高は2億64百万円（前年同期比12.8%減）、セグメント損失は33百万円（前期は34百万円のセグメント損失）となりました。

〔婚礼・宴会関連事業〕

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの飲食事業の運営が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、コロナ禍が一定の落ち着きを見せたことから、婚礼事業におきましては、挙式のご予約・内覧が復調して推移いたしました。

また、法人向け宴会やイベント運営の実施などについても回復基調にあり、宴会事業におきましても着実に収益改善に向けて推移いたしました。

以上の結果、売上高は92百万円（前年同期比70.4%増）、セグメント損失は32百万円（前期は57百万円のセグメント損失）となりました。

〔その他〕

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、美容関連事業において、安定的な顧客基盤に加え、新規顧客獲得が進むなど、堅調に推移した結果、前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、売上高は1億57百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は0百万円（前期は8百万円のセグメント損失）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は109億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億10百万円減少いたしました。これは主に、短期貸付金の増加、現金及び預金の減少、売掛金の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は58億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産の増加、建物及び構築物の増加、貸倒引当金の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少、未払法人税等の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は5億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に、資産除去債務の増加の結果によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は135億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億64百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び剰余金の配当による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,289,538	3,264,021
売掛金	3,210,351	2,768,885
商品	1,274,061	1,260,113
原材料及び貯蔵品	230,028	201,090
短期貸付金	1,350,000	3,000,000
その他	387,972	516,531
貸倒引当金	△69,878	△48,962
流動資産合計	11,672,073	10,961,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,944,980	2,014,217
その他（純額）	1,603,115	1,616,036
有形固定資産合計	3,548,095	3,630,254
無形固定資産	437,929	445,195
投資その他の資産		
その他	1,769,318	1,852,195
貸倒引当金	△85,345	△111,595
投資その他の資産合計	1,683,972	1,740,600
固定資産合計	5,669,996	5,816,050
資産合計	17,342,070	16,777,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871,284	740,364
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	153,052	50,886
賞与引当金	149,309	58,469
ポイント引当金	71,000	75,000
株主優待引当金	201,505	197,282
資産除去債務	17,669	13,510
その他	1,477,261	1,503,516
流動負債合計	3,041,082	2,739,029
固定負債		
資産除去債務	495,820	498,781
その他	10,004	9,515
固定負債合計	505,825	508,296
負債合計	3,546,907	3,247,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	695,257	463,538
自己株式	△72	△72
株主資本合計	13,660,523	13,428,804
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	134,638	101,600
その他の包括利益累計額合計	134,638	101,600
純資産合計	13,795,162	13,530,404
負債純資産合計	17,342,070	16,777,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,352,074	4,195,876
売上原価	1,012,003	1,012,129
売上総利益	3,340,071	3,183,746
販売費及び一般管理費	3,355,288	3,493,768
営業損失(△)	△15,217	△310,022
営業外収益		
受取利息	1,695	16,591
受取手数料	32,630	38,869
その他	3,794	7,645
営業外収益合計	38,120	63,106
営業外費用		
支払利息	792	140
租税公課	462	1,249
その他	590	392
営業外費用合計	1,845	1,783
経常利益又は経常損失(△)	21,056	△248,699
特別利益		
受取補償金	—	25,035
その他	5,102	2,907
特別利益合計	5,102	27,942
特別損失		
減損損失	3,322	245
災害による損失	—	20,765
その他	6,756	1,189
特別損失合計	10,079	22,201
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	16,079	△242,958
法人税、住民税及び事業税	23,029	△14,641
法人税等調整額	27,455	△97,891
法人税等合計	50,484	△112,533
四半期純損失(△)	△34,405	△130,425
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,405	△130,425

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△34,405	△130,425
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	34,052	△33,038
その他の包括利益合計	34,052	△33,038
四半期包括利益	△352	△163,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△352	△163,463
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,865,524	298,992	48,608	4,213,125	138,949	4,352,074
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	753	5,000	5,808	11,562	500	12,062
計	3,866,278	303,992	54,417	4,224,687	139,449	4,364,136
セグメント利益 又は損失(△)	84,994	△34,878	△57,213	△7,096	△8,314	△15,411

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	-	4,352,074
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△12,062	-
計	△12,062	4,352,074
セグメント利益 又は損失(△)	193	△15,217

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額193千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,696,135	264,934	77,494	4,038,563	157,312	4,195,876
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	350	—	15,257	15,607	50	15,657
計	3,696,485	264,934	92,751	4,054,171	157,362	4,211,533
セグメント利益 又は損失(△)	△246,102	△33,190	△32,638	△311,931	806	△311,125

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	4,195,876
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△15,657	—
計	△15,657	4,195,876
セグメント利益 又は損失(△)	1,103	△310,022

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,103千円には、減価償却の調整額が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。